

# 安全データシート

製品名 : IRON TEST 0.005 - 5.00 MG/L FE SPECTROQUANT

作成日 2002年06月04日  
改訂日 2019年01月10日

## 1. 化学品及び会社情報

製品番号 : 114761  
 製品名 : IRON TEST 0.005 - 5.00 MG/L FE SPECTROQUANT  
 製品和名 : スペクトロquant 鉄 テスト  
 Iron Test Method: photometric also refill pack for art. 1.14759.0001 0.005 - 5.00 mg/l Fe SpectroquantR (Fe-AN)  
 会社名 : メルク株式会社  
 住所 : 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー  
 製品取扱部門 : ライフサイエンス  
 MSDS発行部門 : レギュラトリーアフエアーズグループ  
 電話番号 : 03-6758-3625  
 FAX番号 : 03-6369-8617  
 製造元 : Merck KGaA

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分3,	H301
急性毒性 (経皮)	: 区分3,	H311
急性毒性 (吸入)	: 区分2,	H330
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1B,	H314
皮膚感作性	: 区分1,	H317

### ラベル要素 シンボル



注意喚起語 危険

### 危険有害性情報

H301+H311 飲み込んだり皮膚に接触すると有毒  
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 H330 吸入すると生命に危険

### 注意書き

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 P284 呼吸用保護具を着用すること。  
 P301+P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。  
 P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P310 直ちに医師に連絡すること。  
 P330 口をすすぐこと。  
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P501 内容物/容器を国や地方自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一物・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (安衛法)	CAS番号	EC番号
チオグリコール酸	39.2%	HSCH <sub>2</sub> COOH	(2)-1355	公表	68-11-1	200-677-4

### 4. 応急措置

**吸入した場合：**

直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。  
直ちに医師の診察を受ける。

**皮膚に付着した場合：**

多量の水で洗い流す。  
ポリエチレングリコール等の軟膏を塗布する。  
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。

**眼に入った場合：**

多量の水で瞼を開けたまま、最低10分間洗浄する。  
直ちに眼科医の診察を受ける。

**飲み込んだ場合：**

大量の水を与える。  
嘔吐は避ける。  
直ちに医師の診察を受ける。  
不快を生ずる場合は、医師の診察を受ける。  
むやみに中和剤等を与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

**消火剤：**

周辺の貯蔵品に適用される消火剤

**特有の危険有害性：**

火災時に有害ガスを発生する。  
不燃性

**消火を行う者の保護：**

適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項：**

蒸気を吸い込まないように注意する。  
漏出物との接触を避ける。

**環境に対する注意事項：**

下水施設に流してはならない。

**回収・中和等：**

吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。  
漏出箇所に残留物がないように廃棄処理を行う。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い：

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

### 保管：

容器は気密性を保つ。  
換気のよい場所に保管する。  
常温(15~25℃)で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### ばく露防止措置：

#### 設備対策：

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。

#### 衛生対策：

眼、皮膚および衣服に触れないようにする。

#### その他：

作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。  
状況に応じ、防塵・防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、不浸透性保護前掛け等を使用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

形	状	液体
色		無色
臭	い	特異臭
密	度	1.19
pH		3-4
溶	解	性
		水に溶ける。

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性：

加熱により、有害な蒸気またはガスを生成する。

### 危険有害反応可能性：

反応するおそれ：  
強酸化剤

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性：

LD50(oral/rat) : 73.0mg/Kg

### 皮膚に付着、目に入った場合：

皮膚や眼を腐蝕する。  
眼を腐蝕し、失明のおそれがある。  
皮膚に触れると感作のおそれがある。

### 吸入した場合：

呼吸器粘膜を刺激し、咳、息切れ、胸痛をおこす。

作成日 2002年06月04日  
改訂日 2019年01月10日

**吸収された場合：**  
データなし。

**飲み込んだ場合：**  
口腔、咽頭、食道、胃腸粘膜を刺激し、胃および食道に孔を開けるおそれがある。

**その他の有害性：**  
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

---

## 1 2. 環境影響情報

水生生物に有毒。  
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

---

## 1 3. 廃棄上の注意

**残余廃棄物：**  
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

**容器包装：**  
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

---

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 3316  
品名 : CHEMICAL KIT  
クラス : 9/II

**国内規制：**  
毒物及び劇物取締法：医薬用外劇物 (チオグリコール酸)

**安全対策：**  
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

## 1 5. 適用法令

チオグリコール酸  
毒物及び劇物取締法：劇物 政令番号：指定劇物 100-17  
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質  
労働安全衛生法第57条：表示対象物質

---

## 1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい